平成 28 年度

第 28 回　日本建設機械施工大賞 受賞業績（その 1）

日本建設機械施工大賞は，我が国の建設事業における建設機械及び建設施工に関する技術等に関して，調査・研究，技術開発，実用化等により，その高度化に顕著な功績をあげたと認められる業績を表彰し，地域賞部門は，地域に根ざした独自の視点に基づき，従来の施工方法・技術を改良したり，地域に普及させるなどの取り組みを通じて地域へ貢献している業績を表彰し，もって国土の利用，開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的としております。

平成 28 年度は，大賞部門には 12 件，地域賞部門には 3 件の応募があり，その中から日本建設機械施工大賞選考委員会（委員長：深川良一　立命館大学教授）において厳正な審査を行った結果，下記のとおり，大賞部門で 4 件，地域賞部門で 2 件が選考され，去る 5 月 27 日に開催された当協会通常総会後，表彰されましたのでご紹介致します。

なお，誌面の都合上，一部表記を原文とは異なる表現とさせていただいておりますことをお断りします。

受賞業績及び受賞者

■大賞部門

最優秀賞

・ICT 技術を活用した CIM による次世代無人化施工システム

㈱熊谷組，共栄機械工事㈱，㈲ E-.MEC

IoT を活用した大規模無人化施工の長期実施事例であり，将来性を感じる。

i-Construction を推進する上で有益な技術であるなどと，多くの選考委員より高く評価された。

最優秀賞

・シャフト式遠隔操縦水中作業機（T-iROBO UW）の開発

大成建設㈱，㈱アクティオ，極東建設㈱

水中作業用の機械開発に関する技術で，水中無人化施工のシステムとして，将来性を感じる。遠隔操作による水中施工を実用化しており将来性もあるなど，多くの選考委員より高く評価された。

優秀賞

・山岳トンネル施工の大幅な坑内環境向上に貢献する「新換気システム」の開発と実用化

清水建設㈱，流機エンジニアリング㈱，㈱エムシーエム

坑内環境向上に大いに貢献する技術であり，安全性向上が期待できる。労働環境改善も図れる新たな換気システムを実験検討も含め開発しているところがよいとして評価された。

優秀賞

・小型施工機械を用いた砂圧入式静的締固め工法「SAVE-SP 工法」の開発

㈱不動テトラ

経済性や周辺環境への影響などの面で優れており，実績も多くあることから信頼性も高い。着実な実施が求められる液状化対策の推進に有用であるとして評価された。

■地域賞部門

地域貢献賞

・降灰対策型路面清掃車の開発

豊和工業㈱

近年，火山災害が多いことから，更なる改良などが期待される。地域賞部門に相応しい技術であると判断されるなどとして，高く評価された。

地域貢献賞

・刈払機の事故対策ツール「スーパーカルマー」

㈱アイデック

現場の課題を反映しており，適用範囲も広いことから，今後全国的な展開が期待される。身近な機械の安全性向上に寄与している。石跳ねを無くしたことは評価できる。専門業者以外も一般に広く行われる除草作業の作業性を損なわず安全性を高めたなどとして高評価を得た。